平成３０年度

子ども議会　質問書

質問事項　「安心・安全な地域づくりについて」

沼田中学校　３年　大河原（おおかわら）　空弥（そらみ）（１２番）

　ウエルシア栄町店から沼田脳神系外科に向かう通りの道路が、区画整理によって広くなりました。そのおかげで、自動車の行き来が増えました。歩道も広くなり、歩行者もより安全に、その道を利用することができていると思います。

　ですが、そこの途中の大きな十字路には、まだ信号機が設置されていません。そのため、徐行せずに通る自動車も多く、とても危険です。実際に、交通事故もあったそうです。

　また、利根沼田からは、利根実業高校に通う生徒が多く、その道を利用する人がたくさんいます。横断歩道はありますが、歩行者用の信号機がありません。より安全で、交通事故の少ない快適な地域にするためには、早めの信号機の設置や、歩道の安全を確保することが必要なのではないかと思います。

　市では、このことについてどのようにお考えですか。ご意見をお聞かせください。

質問事項　「高齢者と小中学生の交流事業について」

利根中学校　３年　星野（ほしの）　叶羽（かなう）（１９番）

今、全国で少子高齢化が進行しています。私たちが住んでいる沼田市でも、過疎化で人口がどんどん減っている中で高齢者の割合が増えていて、高齢者施設や介護をする人を増やすなど、高齢者に対する施策がますます重要になると思います。だからこそ、介護を大人だけがするのではなく、私たちのような子どもでもできることを今からしていくことが大切だと思います。お年寄りと触れ合うことで、私たちは介護の方法や重要性を学んだり、お年寄りは心のケアができたりすると思います。私たちの学校では、３年生が年に一度、近くの高齢者施設に行って交流をしています。それぞれの学校でそのような交流をしているところもあればしていないところもあるようで、学校任せになっているようです。

私は授業や行事でもっと交流する時間を設けた方がいいと思うのですが、子ども達と高齢者が触れ合う事業として、市ではどのようなことを行っていますか。また、これからどのような対策をしていきたいと考えていますか。教えてください。

質問事項　「台風や豪雨災害の対策について」

多那小学校　６年　小林（こばやし）　ゆう（１１番）

　沼田市の自然災害対策について質問があります。今年は台風が多い年です。台風24号により市内のりんご園のりんごの木が倒れたり、多那小でも学校のとなりの畑の土砂が校庭に流れてきたりなどの被害がありました。しかし、幸い人の命が奪われるようなことにはなりませんでした。過去には、平成28年９月の台風13号に伴う豪雨により、土砂災害で人家２棟半壊の大きな被害に見まわれたこともありました。過去の被害や今年の日本各地での被害を見ると、いつどのように、私たちが台風や豪雨の大きな被害にあうか分かりません。

　沼田市には土砂災害特別警戒区域指定箇所がありますが、お年寄りが多い地域では、車がなかったり、一人暮らしの世帯が多かったりします。私は、そういった地域での定期的な避難訓練の実施や災害時に近所の人同士でスムーズに連絡をとりあえるような仕組みの整備などの対策が必要ではないかと考えます。

台風や豪雨などの災害に備えて沼田市では実際にどのような対策を行っているのかお聞かせください。

質問事項　「沼田市の１８歳選挙への取組について」

薄根中学校　３年　塩野（しおの）　結菜（ゆうな）（１７番）

　平成２８年に、選挙権が２０歳以上から１８歳以上に引き下げられる１８歳選挙権が適用されました。

　私の通う薄根中学校では、毎年冬に生徒会本部役員・専門委員長選挙を行っています。選挙を通してリーダーを決め、「花とあいさつ日本一」をスローガンに活気ある学校づくりを目指しています。

　しかし、立候補者の演説を聴く姿勢があまりよくなかったり、無効投票があったりと選挙に関心の低い人もみられます。３年後には、公職選挙の選挙権をもつ私たちは、選挙に対する関心や知識をもっと高める必要があると思います。

　そこで、１８歳選挙権導入における、沼田市の取組についてお聞きしたいと思います。また、若者の選挙に対する啓発活動や選挙への関心を高める工夫として、どんなことをされているでしょうか。

　薄根中学校でも参考にさせていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

質問事項　「鳥獣保護と農作物の災害との関係」

沼田西中学校　３年　中嶋（なかしま）　日香（はるか）（１４番）

私は、鳥獣を保護するための策としては、鳥獣保護区や特定猟具使用禁止区域の設定などがあるかと思います。これを設定することにより、多くの鳥獣の命が助けられ、安全が守られます。

しかし、ここで問題となってくるのが、イノシシやカモシカの食害や踏み荒らしによる農作物被害やツキノワグマ、シカによる林業被害などの様々な鳥獣被害が出てくるかと思います。

その場合、鳥獣からの被害をより少なくする為に、電気柵などが使用されます。しかし近年、沼田市でも農業従事者の高齢化が進んでおり、設置に要する労力は計り知れません。祖父も農業を営んでいましたので、秋口になると、設置に一苦労だと話していたのをよく覚えています。

そこで、鳥獣たちの尊い命を守る為、また人間とのより良い共存環境を築けるよう、行政として更なる支援策などがございましたら、ご意見お聞かせ下さい。

質問事項　「児童館の設置について」

沼田東小学校　6年　井上（いのうえ）　愛椛（まなか）（2番）

　夏休みに、県外に住むいとこと会いました。その際に、いとこの県では、地域に児童館があり、放課後や休日は、無料で自由に遊ぶことができると聞きました。

　そこで調べてみたところ、群馬県内にも多くの市町村に児童館があり、遊具で自由に遊んだり、育児相談や子育て講座、季節の行事などが行われていることを知り、子育てをする家庭にはすごく良いなと思いました。利根沼田にも、片品（かた）村やみなかみ町には児童館があるそうですが、沼田市には児童館はないようです。

　児童館があれば、親が共働きで、おたがいの家を行き来できない子たちが、放課後一緒（しょ）に宿題をしたり遊んだりできると思います。また、赤ちゃんから中高生まで、ちがう年齢（れい）の子どもたちが交流することもできると思います。さらに、沼田市は冬は雪が多くふり、遊ぶ場所が少ないので、室内で遊べる施設を作ってもらえたら良いなと思います。

　この件について市ではどうお考えですか。ご意見をお聞かせください。

質問事項　「自然観光地・沼田について」

沼田北小学校　6年　林（はやし）　幸（さち）（3番）

みなさんは現在、沼田市に観光客がどのくらい来ているか知っていますか。平成27年度と28年度を比較すると約600人ほど観光客が減少しています。最近の沼田市の様子を見ると、観光バスの数の低下が感じられ、このさきの観光客が増加し、安定していくのか少し心配になります。

そこで私は、沼田市ならではの土地や産物を生かした森林公園を作ることを提案します。その森林公園の一角に沼田市がほこる特産物を植え、自然を生かした観光地ができるとよいと考えます。

私の理想では、群馬名月や紅さやかなどのりんごやさくらんぼや群馬の有名な特産物狩りができるとよいと思います。そこで採れた果物は新鮮なうちに食べることができたり、ジャムや、ジュース、あめなどお客によって手作りされたり、お土産として持ち帰ったりできるのです。夜には星夜を楽しみながら、キャンプもできる。そのような沼田市の目玉となる場所を作っていただきたいです。そうすることで、自然も楽しめ、沼田市に来る人が増え、活発な町になると思います。

質問事項　「自然観光地・沼田について」

沼田北小学校　6年　林（はやし）　幸（さち）（3番）

「自然観光地・沼田」についての私の提案はいかがでしょうか。ぜひともご意見をお聞かせください。

質問事項　「学校のクーラーの設置について」

利南東小学校　6年　千明（ちぎら）　玲雄（れお）（5番）

ぼくは、沼田市の予算に関心を持ちました。沼田市で集めている税金の使い道は、議会で議員さん方が話し合って決めていただいていると思いますが一つお願いがあります。

ぼくが、今、予算の中でぜひ考えてほしいことは、学校の教室の環境を整えるクーラーをつけてほしい事です。最近、温暖化が進んでいるせいなのか、年々夏の暑さが激しくなっています。学校の教室も朝から30度近くあり、午後はものすごく暑いです。

クーラーのよさは、扇風機よりも気温が下がり涼しく、体がかなり楽になります。汗かきのぼくも、だらだらと流れる汗を防ぐことができます。この夏、テレビのニュースで、熱中症で小学生やお年寄りが亡くなってしまったニュースを多く見ました。

そこで、質問です。沼田市は、学校の教室にクーラーを設置することについてどうお考えですか。ぜひ、ぼくたちにお考えをお聞かせください。

質問事項　「沼田市の人口について」

池田小学校　６年　岡谷（おかや）　颯太（そうた）（６番）

　現在日本では人口減少が心配されています。人口が減少してしまうと地域の活力が弱くなり、産業が衰退してしまう恐れがあります。群馬県では上毛カルタにも「力合わせる２００万」というものがありますが、現在約１９７万人となっています。

　僕の住む池田地区でも子どもの数も減少し、来年度から幼稚園が休園になるかもしれません。他の地域では人口を増やすために移住政策を行っている所もあります。沼田には玉原高原やリンゴなどの果実栽培など美しい自然や特色のある産業があります。僕はこれを生かして他の地域から人を呼んではと思います。

　そこで、沼田市の人口やその対応について質問があります。まず、沼田市の現在の人口の変化、もし人口が減少しているとすれば、その改善のためにどのような対策を市として行っているかを教えてほしいと思います。

質問事項　「terraceでの災害時の対応について」

利根実業高校　３年　吉野（よしの）　亜弥美（あやみ）（２４番）

市では、以前あった「グリーンベル２１」を「terrace」という施設に改築中ですが、このことについてお伺いしたいと思います。

「グリーンベル２１新庁舎等整備基本設計概要」を拝見すると、この施設は災害時には市民の避難場所として使用されると書いてありました。最近では、北海道胆振（いぶり）地方を震源とする地震が発生し、大規模な停電や水道管の破裂による断水で、一時避難生活も大変な状況だったという報道を私は耳にしました。

そこで不安に思ったのですが、このterraceは災害時の避難場所として、停電時の電力補給や断水時の水源確保はどのように計画されているのでしょうか。また、災害時以外の日常生活でどのように使われることになるのか、来年のオープンに向けて、具体的な内容が決まっていましたらお聞かせください。

質問事項　「沼田市の明るい街づくり」

白沢小学校　6年　坂口（さかぐち）　稟和（ひより）（9番）

　私が提案（ていあん）する沼田市内に作ってほしいものは2つあります。市内の外灯が少ないという事と、空（あ）き地が多いということから考えました。

　市内の外灯が少ないという事は道を通行する上でとても危険だと思うので外灯を増やして下さい。また白沢町でも外灯が少ないので増やしてくれたらいいなと思います。

　空（あ）き地は、公園として使えれば、沼田市に来てくれた人たちにも楽しんでもらえると思ったし、私達も、楽しめると思いました。また、子どもがゲーム・スマホをするよりも、「公園に行きたい。」「公園で遊びたい。」と思ってくれる子どもが増えると思いました。

　なのでこれから外灯を増やしたり、空（あ）き地を公園にするなどすれば、市に住んでいる人や観光客の人のためにもなると思うのでぜひやっていただけると嬉しく思います。

質問事項　「誰もが平等に勉強できる環境づくり」

利根小学校　５年　尾池（おいけ）　結来（ゆら）（１０番）

私は、放課後や休日に無料で勉強できる施設がほしいと感じています。沼田市立図書館などありますが、だれかに教えてもらうことは難しいときもあります。では、塾に行けばいいと考えることもできますが、月謝が高く家庭の関係で通えない子もいます。私は、勉強したいのにできないのは、不平等だと思います。ですから、安く通えて勉強のできる施設を作ってほしいと提案したのです。

しかし、作ったところでまた問題が起きると思います。それは「場所が遠くて行くための時間がかかる」ということです。私の住んでいる利根町から沼田駅に行くには、車で４０分以上かかります。この問題を解決するために、色々な町に点々と作ってほしいと思います。そうすれば、行きたい人はほとんど行けるようになるのではないでしょうか。

だれもが勉強したいときに勉強できる施設。このような施設を作っていただけないでしょうか。

質問事項　「学校の教育活動に関すること」

升形小学校　6年　坂西（さかにし）　優良（ゆら）（4番）

　沼田市の図書館は、本の種類がたくさんあります。そして、どこにどんな種類の本があるのか、今おすすめの本は何なのか教えてくれる人がいるので、子どもだけで行ってもお目当ての本を探すことができます。また、移動図書館が定期的に来てくれいろいろアドバイスも聞けるのも、とても便利です。学校の図書館にも本はたくさんあります。図書委員会の人が定期的に破れた本を直したり、読書月間などに本の紹介や読み聞かせなどをしてくれます。でも、もっと専門的に本のおもしろさを教えてくれたり、いろいろなアドバイスをしたりしてくれる人がいると、図書室を利用しようと思う人が増えるのではないでしょうか。

　そこで質問です。学校の図書室にもいろいろアドバイスをしてくれる専門の人がいてくれるようにすることはできませんか？専門の人がいて、今おすすめの本やその学年に合った本などを紹介してくれるともっと図書室に行こうと思う人が増えるだけではなく、授業で調べ学習をする時にもどの本を調べればよいかとかいろいろ教えてもらえるとぼくたち

質問事項　「学校の教育活動に関すること」

升形小学校　6年　坂西（さかにし）　優良（ゆら）（4番）

も勉強をがんばることができます。専門の人を置くことはできませんか。

質問事項　「沼田市の地震対策について」

沼田女子高校　２年　小崎（おざき）　理子（りこ）（２３番）

　２０１８年６月１８日に起きた大阪北部地震を皆さんは覚えているでしょうか。この地震によって倒壊したブロック塀で小学生が犠牲になりました。この事故を受けて、今年の夏休みの地理の課題では沼田市のブロック塀の場所を記録しました。実際にやってみて、沼田市にはたくさんのブロック塀があることが分かりました。また、ブロック塀は民家だけでなく、ほとんどの学校を囲っていることが分かりました。私は、それらのブロック塀をフェンスに替えれば良いと思いました。

　しかし、地震発生時には他にも注意しなくてはいけないことがあります。例えば、建物の倒壊や火災などです。そこで、私は沼田市の地震対策にはどんなものがあるのかという疑問を抱きました。私が現在知っているのは、避難所の場所とハザードマップがあることだけです。その他に沼田市の地震対策にはどのようなものがあるのでしょうか。教えて頂きたいです。

質問事項　「沼田市の観光について」

川田小学校　6年　小嶌（こじま）　陽花（はるか）（8番）

郷土・沼田市は、本当に素晴らしい市です。自然に恵まれ、緑豊かで、どこへ行っても生活環境がよく、とても住みやすい市だと考えています。観光についても、ずいぶん力を入れているのではないでしょうか。

しかし私は、沼田市の観光については、スキーなどのレジャーや果物などで集めるツアーぐらいしか知りません。他にどのような観光があるのか、どのような工夫をしているのか、また今後どのような計画があるのかなど、知りたいと思っています。そして、そこで得たことから、私も何らかの貢献ができればと考えています。

私が大切に思う沼田市。郷土に住む者として、観光を通して、ここに住む人たちや他の地域の人たちから、もっともっと愛される沼田市であってほしいと思います。

そこで、沼田市の観光について質問させていただきます。

真田丸ブームが終わってしまいましたが、一時期に比べて観光客は減りましたか。また、真田丸に代わる観光名所はありますか。

以上、沼田市の観光について質問します。

質問事項　「沼田市の学習空間について」

沼田高校　２年　生方（うぶかた）　秀磨（しゅうま）（２１番）

私は学習に集中するために、よく図書館の読書室を利用させていただいています。季節に合わせて冷暖房を入れていただいているおかげで、非常に快適な環境で勉強できることに深く感謝しています。私は、このような学習空間をより多くの人が、より多くの時間利用できることを望みます。

市内には、読書室のような学習できる空間が少ないと感じます。以前は中央公民館にも学習室というのもがありましたが、スポーツ振興課が入ることによって、利用できなくなってしまいました。

また、図書館の読書室を利用している人の中で、「開館、閉館時間を調整して利用時間をより長くしてほしい」「祝日も開けてほしい」といった声もよく耳にします。

市内に誰でも利用できる学習空間を増やすことは可能でしょうか。また、図書館の読書室の利用時間を長くすることは可能でしょうか。このことについて意見をお聞かせ頂きたいと思います。

質問事項　「歩行者の安全のために」

沼田東中学校　３年　河合（かわい）　明日香（あすか）（１５番）

　私は買い物に行くとき、前橋や高崎に行かなければなりません。そんな中、１２０号線の道路を拡大するという話を耳にしました。道路が拡大すれば交通量が増えるので商店街のお店が増え、よりにぎやかになると思います。

　しかし、交通量が増えれば自動車や自転車と歩行者の事故が増加するといった問題が考えられます。また、商店街で、もう少し先に行けば横断歩道があるのに車道を横切っているお年寄りの方を何度も見かけたことがあります。

　これらの問題を解決するためにも歩行者のことを考えた道路づくりが大切だと考えます。例えば、車道と歩道の間にガードレールや境界ブロックを設置したり、歩道を広くしたりすればこういった事故は減ると思います。また、中学生やお年寄りのためにも、横断歩道を増やせば安全に通行できると思います。

　そこで質問です。１２０号線の道路の拡大について、歩行者に対してどのような配慮を考えているのですか。

質問事項　「東京オリンピック・パラリンピック」

池田中学校　３年　長谷川（はせがわ）　耀汰（こうた）（１６番）

２年後の２０２０年に東京オリンピック・パラリンピックが行われます。２年前のリオオリンピック・パラリンピックでは、体格の違う外国の選手達と互角に戦う日本人選手の活躍をテレビの前で見て、僕自身胸が熱くなったのを覚えています。そのときは、オリンピックが遠い国で行われる大会と思っていましたが、今年の夏にドイツのフェンシングチームが沼田市に強化合宿に来ていたと聞き、オリンピックが今までよりも身近に感じました。同時に、沼田市に対する誇りや愛着がさらに生まれました。

沼田市には吹割の滝や沼田城跡、そして僕の通う池田中の校区にある迦葉山や玉原スキーパークなど数多くの観光スポットがあります。食べ物では団子汁や最近では高校生がエダマメンチを開発し沼田市をＰＲしています。

そこで、沼田市が東京オリンピック・パラリンピックに向けて沼田市をＰＲするために行う予定の企画がありましたら教えてください。

質問事項　「インフルエンザワクチンについて」

薄根小学校　6年　平井（ひらい）　優美（ゆみ）（7番）

今、世界中でワクチンによって多くの命が救われていて、日本でも赤ちゃんの頃から多くの病気を予防することができています。

ですが、インフルエンザに関しては私の学校でも全国的にも、冬に学級閉鎖になるクラスがとても多く、毎年大きな問題になっています。

昔は、多くの子供が学校でインフルエンザワクチンを接種していて学級閉鎖はほとんど無かったという話を聞いて大変驚（おどろ）きました。

学級閉鎖を防ぐために、沼田市では子供のインフルエンザワクチンの定期接種を再開してはどうでしょうか。

学級閉鎖が起これば勉強が遅れてしまいます。病院で治療を受ければ、ワクチンよりももっと高い医療費がかかってしまいます。子供の看病のために母親が仕事を休めば社会の経済的損失にもなります。

インフルエンザワクチンは副作用が少ない安全なワクチンですので、みんなの健康を守るという意味でも経済的な意味でも、メリットの方が大きいと思います。

質問事項　「おうち診療所」

尾瀬高校　３年　吉原（よしはら）　えりか（２２番）

私は沼田市におうち診療所という施設の設置をお願いします。おうち診療所とは、難病の子供たちの為の民間診療所です。医師や看護師は２４Ｈ対応で家族のサポートも行っています。寄付を募って運営しています。何故この施設の設置を願うのかというと、余命宣告をされたり、一般家庭の生活や治療の難しい人や、障害者が家族と生活しながら難病と闘うということが人の幸せであると考えました。昨年１１月５日、祖父が亡くなりました。余命も言いわたされていました。最期は病院で亡くなりました。亡くなるまで面会時間で制限され、一人で寂しい思いもしたことと思います。家族と暮らすことが世の当たり前なら、病人も障害者も家族と当たり前に過ごしたいに決まっています。実際にこの施設は兵庫県にあり、小児がんの女の子が特集されているのを見ました。医療の進歩で小児がんは７割方、助かる命はあるものの、３割は亡くなっているのが現状です。一人でも多くの人が家族と共に病と闘い、生涯を閉じる、そんな施設が沼田市にあってもよいのでは。以上です。

質問事項　「ゴミに関する対策について」

沼田小学校　6年　生方（うぶかた）　凛（りん）（1番）

ぼくは、登下校時にゴミが落ちているのを必ず見ます。決して良い気持ちにはなりません。

そこで、ゴミを減らすための提案と、ゴミ対策についてお伺いしたいと思います。

沼田小学校では、集団下校時にクリーン作戦を実行しています。高学年が中心となってゴミを拾いながら帰宅します。ですが、なかなかゴミが無くなることはありません。そこで、地域の方にも声をかけ、授業参観等で一緒にゴミを拾う機会を作れればと考えました。そうすることで通学路の危険な箇所をみんなで確認できたり、ゴミが無くなることで沼田を訪れる観光客の方にも気持ちよく過ごしてもらえたりできると思います。

そこで、沼田市ではゴミに関する具体的な対策はどのような取り組みを行っているか、教えていただければと思います。

質問事項　「沼田市の６次産業について」

多那中学校　３年　藤井（ふじい）　千鶴（ちづる）（２０番）

　私は沼田市の第６次産業の取組について提案したいと思います。沼田市では、６次産業で地域の活性化を目指していると聞きました。実際に、枝豆から作った大豆のきなこや、利根実生が考案したエダマメンチ、トマトを使ったソースなどが生産、加工、販売され、６次産業の一つとして行われています。

　しかし、町の中は人が少なく、お店が減っているため、町の様子が活発ではなく、あまり６次産業が進んでいないように感じます。

　沼田市ではりんごの産地があり、私が住んでいる地域の周りにも、りんごがたくさん生産されています。

　そこで、それらのりんごをうまく使って沼田市を活性化していけるのではないかと考えました。例えば、沼田市のりんごを品種改良し、そのりんごに「沼田」という名称をつけ、商品化し、地元の道の駅や東京で販売したりすることができれば、沼田の知名度が上がり、活性化につながるのではないでしょうか。沼田市の考えをお聞かせ下さい。

質問事項　「教育目標とその達成への活動について」

沼田南中学校　３年　眞庭（まにわ）　詩織（しおり）（１３番）

　沼田市の各小中学校では、毎年その学校ごとに学校の経営方針や学校教育目標が決められていると思います。

　例えば私の通っている沼田南中学校でも今年度は『人間尊重の精神を基盤に、地域や国際社会に生きる自覚を高め、心豊かで逞（たくま）しく活力のある生徒を育成する。』という教育目標が示され、この目標を達成するために、普段の授業だけでなく、学校行事、ゲストティーチャーによる授業とさまざまな活動が実施されています。他校も同様と考えます。

　私は、この各学校の目標及びその達成への活動を、もっと沼田市全体の成果にできないかと考えました。各学校の目標設定や達成への活動をそれぞれの学校だけのものにしてはいけないと思うのです。

　そこで、各学校の教育目標やその達成への活動を教育委員会から他校へ紹介していただき、沼田市全体でよりよい方向に向かっていけたら良いと考えますが、いかがでしょうか。

質問事項　「沼田市の活性化」

利根商業高校　３年　堀（ほり）　海斗（かいと）（２５番）

毎年行われている沼田まつりについてです。年々、屋台の減少などにともなって客足が遠くなっている印象を受けたのですが、この問題についてどのようにお考えですか。年に１回のイベントなのに、衰退していってしまうのは沼田市民としてとても残念なので、少しでも協力できたらと考えています。そのために何か対策を立ててほしいと思います。これは、沼田市の良さをたくさんの人に伝えることができるとともに、沼田の活性化に繋がるので是非お考えいただきたいと思います。

私は生まれた頃から沼田市に住んできました。これからもお世話になる沼田市をもっと活気のある町にしていきたいので、よろしくお願いいたします。

質問事項　「沼田のごみに関すること」

白沢中学校　３年　小黒（おぐろ）　悠太（ゆうた）（１８番）

　豊かな森林にかこまれ、訪れる人にも潤いや安らぎを与えてくれる沼田市を、私たちは誇りに思っています。今後も、豊かな自然環境と私たちの文化的な活動が共存していくことを願っています。

　そこで、環境と切っても切れない関係にあるゴミに関することについて質問します。１点目は、「上川田の最終処分場」についてです。小学校の時に、燃やせないゴミなどを処分する最終処分場は、まもなくいっぱいになると学習しました。いっぱいになったらどうなるのか。また、新しい処分場は、どこにできるのでしょうか。２点目は、黄色の袋の「指定プラスチック」についてです。最近、テレビで海外から中国へごみのプラスチックの輸出することを禁止すること、日本から大量のごみのプラスチックが輸出されていることを知りました。私たちが出した沼田市の指定プラスチックは、どのようにリサイクルされているのでしょうか。また、海外に輸出されているのでしょうか。お尋ねいたします。